

2018年12月7日

東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館

秋篠宮同妃両殿下「カール・ラーション」展へのお成りについて

2018年12月4日（火）、東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館（以下、損保ジャパン日本興亜美術館）で開催中の「カール・ラーション」展に、秋篠宮同妃両殿下のお成りを賜りました。

本展は、家族をモチーフにした温かい作品で知られるスウェーデンの国民的画家カール・ラーション（1853～1919）の展覧会です。妻カーリンとともに改装した理想の家での暮らしを描いた彼の画集は、現代のスウェーデンのインテリアにも深い影響を与え、各国でも翻訳出版されています。

本展では、絵画をはじめ、夫妻がデザインした家具やカーリンのテキスタイルなど日本初公開を含む品々を展示し、世界を魅了したライフスタイルを紹介しています。

秋篠宮同妃両殿下は、カール・ラーションの作品をご覧になり、カーリンを描いた幸福感あふれる作品「アザレアの花」や、北欧の牧歌的なひとときを描いた「白樺の樹の下で」などの前では、本展の監修者である中部大学の荒屋鋪教授の説明に、時折ご質問を交えながら、熱心に耳を傾けられていました。

なお、「カール・ラーション」展は、損保ジャパン日本興亜美術館で、12月24日（月・休）まで開催しております。

【展覧会概要】

- | | |
|---------|---|
| （1）展覧会名 | 日本・スウェーデン外交関係樹立150周年記念
カール・ラーション スウェーデンの暮らしを芸術に変えた画家 |
| （2）会期 | 2018年9月22日（土）～12月24日（月・休） |
| （3）開催形態 | 主 催 損保ジャパン日本興亜美術館、NHK、
NHKプロモーション、朝日新聞社
協 賛 損保ジャパン日本興亜
後 援 スウェーデン大使館
特別協力 カール・ラーション・ゴーデン（記念館）
協 力 イェーテボリ美術館、ティールスカ・ギャラリー |

以上